

発 明 等 届 出 書

平成 年 月 日

記述者

部 署

TEL

FAX

e-mail

I 発 明 ・ 考 案 の 名 称

〔発明・考案の内容に応じて簡潔に記載〕

発 明 ・ 考 案 者

発 明 寄 与 率

1.

%

2.

%

3.

%

II 請 求 の 範 囲

〔発明・考案の目的・効果を達成するために必要不可欠な条件のみを明示し、要すれば、**限定範囲を設ける。**簡条書き
でよい。〕

1.

2.

3.

III 従 来 技 術

〔関連のある文献、それに記載されている要旨、公知公用技術のうち最も類似するものを記載。*別紙図面の余白に説明
を加えるだけでもよい。**従来技術として既に出願されている特許文献の番号を必ず記載して下さい。**〕

IV 発 明 ・ 考 案 の 内 容

〔従来技術と比較した本発明・考案のポイントを簡単に記載する。また、本発明・考案の利用分野や用途も記載す
る。〕

V 効 果

〔本発明・考案の効果を従来技術と比較して説明する。簡条書きでよい。なるべく多く挙げる。〕

VI 実 施 例

〔請求の範囲内でなるべく変化のある数例を示す。別紙に図面を示し、各部の名称、特徴を説明する。コンピュータプログラムによる制御動作は、必ずフローチャートを図示して説明する。*図面の余白に説明を加えるだけでもよい。〕